

江東自転車エコライフ通信 267号

ゆっくり じっくり 地元江東区を走ろう 身体が喜ぶぞ！

◇ 江東エコリーダー養成講座 OB会・江東自転車エコライフの会 江東区千田 13-10

第267回 楽しく自転車で走る会 (25.2.23)

錦糸公園をスタートし、亀戸天神に。2月にしては温かい日中で、参拝客もそこそこ多かった。

そこから直ぐの小村井香取神社に、まさに梅まつりで満開の梅が迎えてくれた。梅はまさに見ごろで、紅梅・白梅・黄梅・枝垂れ梅等をたくさんの観光客と一緒に満喫することができた。

香取神社は、1165(永万元)年、東京都墨田区に、千葉県香取郡から移住、開拓した人々の氏神として創建されたと伝わる神社。武神でもあり産業開発、開拓の神でもある経津主大神を祭神として祀られている。

香取香梅園・向島百花園



錦糸公園前からスタート



亀戸天神社



小村井香取神社



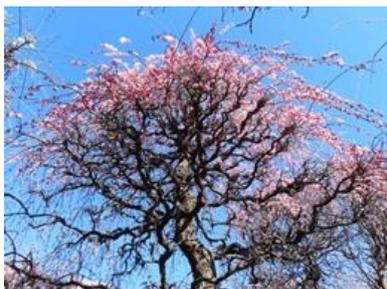
満開の梅



白梅



香梅園



香梅園は満開



しだれ梅



売店



百樹園 千葉大学隅田サテライトキャンパス



墨田漢方研究所



向島百花園



向島百花園



春の七草



甘酒を味わう



奥浅草伝統祭り江戸吉原おいらん道中（墨田公園山谷掘り広場）



大横川親水公園



香取神社を後にし、向島百花園に向かった。途中に千葉大学サテライト・キャンパス・**墨田漢方研究所**の威容に驚いた。誰もが健康第一の時代、西洋医学のみではなく、漢方にも注目するようだ。

向島百花園に到着すると、沢山の人で賑わっている素敵な庭園と梅に満足し、さらに春の七草、美味しい甘酒を頂いた。江戸時代には、文人墨客のサロンとして利用され、著名な利用者には「梅は百花にさきがけて咲く」といって「百花園」の命名者となった**絵師**・酒井抱一その他、門の額を書いた**狂歌師**・大田南畝などが。徳川 11 代将軍家斉や、12 代将軍家慶も百花園を訪れていたという。

その後、隅田川渡り墨田公園に入ると、山谷掘り広場で奥浅草伝統祭りの華やかな**江戸吉原おいらん道中**を観ることができた。最後は、大横川親水公園を走り、フィナーレとなった。

2. 参加者の言葉から

- ・ 百花園の熱々甘酒、堤通のきび団子、甘味満腹で言問団子をパス。寄り道して桜橋（エックス橋）を渡ると偶然に「おいらん祭り」に遭遇。ちょうラッキーな一日でした。
- ・ 寒の戻り中、快晴無風で心地よく路地裏をポタリングできました
- ・ 梅の開花は例年より遅れ気味、ほぼ満開の絢爛な花に囲まれて、無料の熱いお茶の一杯に癒された。向島百花園に対となる？あずま百樹園経年後が楽しみだ。

3.. 第 268 回走る会 3月 23 日（日）お江戸深川桜巡り 集合：13:00 江東区役所前